

農事組合法人 たてファーム・和 なごみ



1 現在の経営状況等

(1) 経営理念, キャッチフレーズ等

『経営力と挑戦力』

法人に参加した構成員・地域のみんが取り組んで良かったと思える経営を目指し、受け身にならずに、前に向かって進んでいきたいと考えている。

『経営力と挑戦力』の理念のもと、以下の経営方針を立て、地域農業を担っている。

◆経営方針

- ①地域農業生産振興と農地の再編
- ②効率的かつ低コスト農業で経営の安定
- ③環境変化に順応できる人づくり

(2) 栽培技術の特長

水稻の栽培面積のうち約30%は乾田直播を導入し、省力化に努めている。

地下水水位制御システム(FOEAS)を導入し、水稻+大豆のブロックローテーションに取り組んでいる。

園芸部門ではキャベツを栽培している。

(3) 販売の特長

米・大豆等、全量系統出荷である。

(4) 経営組織の特長

個人の施設や機械を活用し、法人としては設備投資を極力抑えるようにしている。

(5) 経営管理の特長

庶務や会計処理については担当者を置き、適切な事

務処理に努めている。また、財務、税務管理については顧問税理士に依頼している。

(6) その他, 特筆すべき事項

地域の協力を得ながら農地の集約を進め、約100haの基盤整備面積に対して約80%の集積率となっている。

農地中間管理事業を利用した農地集積面積は約52haである。

2 法人設立までの変遷

(1) 法人設立の動機, きっかけ

当法人は平坦で肥沃な耕土を有する水田地帯に位置するが、農家の高齢化・兼業化が進んでおり、以前から農地を活用するための受け皿組織が必要だと認識があった。

平成19年から基盤整備事業に取り組むこととなり、集落内で意向調査や勉強会を重ね、基盤整備地区の担い手組織として法人化することに決定した。

(2) 法人化に至る経過等

平成19年に集落営農組織「たてファーム・和」を設立。

平成21~25年に法人化に向けた研修会や先進地視察を実施。

平成25年に意向調査を2回実施。

法人化のメリット等について理解が深まり、平成26年11月に発起人会を設立し、平成27年2月に「農事組合法人 たてファーム・和」を設立した。

経営のプロフィール

農業地帯	平地農業地域
組織形態	ぐるみ型
エリア	集落
農地集積率	80% (作業受託を含む)

経営概要

水稻 42.0ha (乾田直播 11.0haを含む), 大豆 34.4ha
キャベツ (露地栽培) 0.51ha

主な施設・機械の保有

機械格納庫 (140㎡), トラクタ (108ps・55ps) 2台,
コンバイン (水稻用 7条・汎用 3条) 2台,
ブームスプレーヤー 2台, パーチカルハロー, 苗定植機 等

構成員等

組合員: 13名, 役員 (理事, 取締役等): 5名

法人設立年月日

平成27年2月23日

認定農業者認定年月日

平成26年3月27日

資本金

650万円

販売額等

6,984万円,
収入算入交付金等: 2,367万円 (経営所得安定対策等)

役員名

代表者: 代表理事組合長 伊藤 重一

補助事業, 制度資金活用実績

地域集積協力金, 農業近代化資金

(3) 法人化後の評価(良かった点等)

農地の集積率が80%と目標よりも高くなり、集落内で地域の担い手として認められており、荒れた田畑が無くなった。

3 今後, 将来に向けてのビジョン等

(1) 将来ビジョンと経営戦略等

今後は、個人が所有する農業機械を段階的に法人に集約させ、個人の機械投資に係る負担の軽減と法人の収益性を拡大させる。また、若者や女性が集落内で活躍できるような環境を作りたい。

JAいしのまきと輸出米や業務用米の取組について検討している。

(2) 達成に向けた課題及び取り組み状況

GAP取得に向けて勉強中である。

平成30年は「萌えみのり」を試験的に栽培する。
(調査: 石巻農業改良普及センター)

略図



農事組合法人 たてファーム・和 なごみ
〒987-1221 石巻市須江字茄子川45
TEL 0225-73-4313

視察受入条件

受入可 (ただし農繁期は除く)

石巻農業改良普及センター
(0225-95-7612) まで御連絡ください。